花粉発生源対策の推進

【４６３（４０２）百万円】

対策のポイント

花粉症の緩和に向け、スギ林の植替え及び植替えに必要な花粉症対策苗木の供給拡大を加速化させます。

＜背景／課題＞

・近年では国民の３割が罹患し国民病とも言われている**花粉症は、医療費の支出、労働生産性の低下等国民経済上のマイナス要因**となっています。
・スギの花粉症対策苗木の供給量は平成17年度の９万本から平成26年度には258万本と約30倍に増加していますが、**スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合はまだ約15%**という状況です。
・このため、花粉症の緩和に向け、**花粉症対策苗木の更なる供給増大**を図るとともに、**山元での植替えを促進**することが必要です。

政策目標

スギの花粉症対策苗木の供給量
（258万本（平成26年度）→1,000万本（平成29年度））

＜主な内容＞

１．花粉発生源の植替えの促進　６９（６９）百万円

（１）花粉症対策苗木への植替えの促進　５０（５０）百万円

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進※するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。

※　これに関連して、花粉症対策苗木の供給体制が整い次第速やかに、スギを植栽する場合には原則として花粉症対策苗木のみを森林整備事業の補助対象とすることを目指します。

（２）スギ・ヒノキ花粉飛散量推定等の推進　１９（１９）百万円

スギ・ヒノキの花粉発生量推定のための雄花着生状況調査及び実証調査を支援します。また、森林所有者等に対し、花粉発生源対策に係る普及啓発活動を支援します。

（補助率：定額
事業実施主体：民間団体等）

２．花粉症対策苗木の需要・供給の拡大　３６５（３２５）百万円

（１）生産体制の整備

①　花粉発生源対策採種園の整備等　８２（８７）百万円

花粉症対策品種等の苗木の生産を目的とした採種園等の造成・改良や人工交配に関する技術研修等を推進します。

②　コンテナ苗生産基盤施設等の整備　２４９（２１９）百万円

花粉症対策に資するコンテナ苗等を大量に供給するため、苗木保冷庫を含む苗木生産施設等の整備を支援します。

（補助率：定額、１／２
事業実施主体：国、都道府県、認定特定増殖事業者、事業協同組合
農業協同組合、森林組合、民間団体等）

（２）花粉症対策苗木の普及

① **花粉症対策苗木の供給拡大** **１７（１９）百万円**

花粉症対策品種等の優良種苗の供給拡大のために、全国各地で苗木生産者を対象とした技術研修、巡回指導を支援します。

② **花粉発生源対策促進事業** **（農山漁村地域整備交付金で実施）**
１０１，６５０（１０６，６５０）百万円の内数

花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、スギ人工林等の花粉発生源となっている森林を対象として、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽に必要な経費の一部を支援します。

③ **スギ雄花着花特性検査の高度化** **１７（－）百万円**

スギの雄花着花特性を**短期間かつ高精度で判定できる検査手法の確立**を支援します。

（補助率（国費率）：定額、３／１０
事業実施主体：都道府県、民間団体等）

３．**花粉飛散防止技術の開発（スギ花粉飛散防止剤の林地実証試験）**
２９（－）百万円

花粉飛散防止剤の実用化に向け、**ヘリコプターによる液剤の林地散布を実施し、空中散布の基本技術を確立**するとともに、花粉飛散防止効果に関するデータの収集を支援します。

（補助率：定額
事業実施主体：民間団体等）

（お問い合わせ先：
１、２（２）③、３の事業
林野庁森林利用課　（０３－３５０１－３８４５）
２（１）②、２（２）①の事業
林野庁整備課　（０３－３５９１－５８９３）
２（２）②の事業　林野庁整備課　（０３－３５０２－８０６５）
２（１）①の事業　林野庁研究指導課　（０３－６７４４－２３１２））

花粉発生源対策の推進

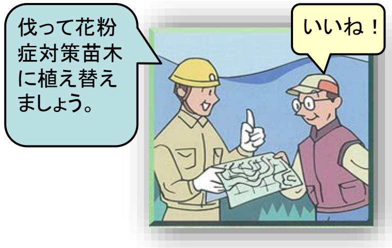
【平成29年度予算概算決定額　463（402）百万円】

【背景／課題】
スギ花粉症は国民の3割が罹患しているといわれており、花粉発生源対策の推進が必要。
これまで少花粉スギ等の花粉症対策品種の開発・生産拡大等に取り組んできたが、スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合はまだ約15%という状況。

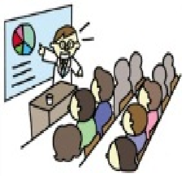
【対策のポイント】
花粉症の緩和に向け、スギ林の植替え及び植替えに必要な花粉症対策苗木の供給拡大を加速化。

1．花粉発生源の植替えの促進

〇スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援



〇花粉発生量推定のための調査
〇花粉発生源に係る普及啓発活動



2．花粉症対策苗木の需給拡大

〇採種園等の造成・改良等

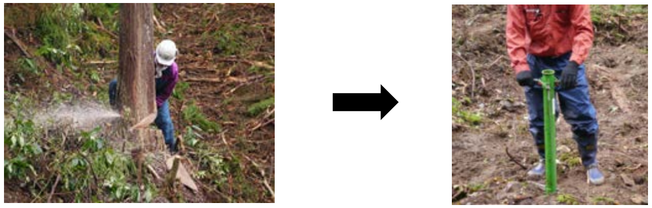
〇コンテナ苗生産施設等の整備を支援

〇生産技術習得・向上の取組を支援

〇花粉症対策品種の検査手法の改善

<着花促進剤処理による若齢木の雄花の着花>

〇花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽を支援



3．花粉飛散防止技術の開発

〇スギ花粉飛散防止剤の林地実証試験

<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

【目標】

スギの花粉症対策苗木

供給量

258万本

（平成26年度）

1，000万本

（平成29年度）